

【介護老人保健施設の理念と役割】

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供すると共に、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

1階 介護 柳橋 麻悠

通所リハビリでは、年に一度ビンゴ大会を開催しています。今年は、2月の誕生会に併せて一緒に行いました。

ビンゴのルールは皆様熟知されており、いざ開始。早めにリーチの声を上げる方がいれば、なかなか思うように数字が揃わず苦戦される方もおり、発表される数字に一喜一憂されておりました。

それでも最後は皆様に景品が行き渡り、「よかった」「いいものが当たった」と喜ばれていました。

今後も定期的に利用者皆様が楽しめる行事を開催していきたいと思えます。



2階 介護 佐藤 二美子

立春が過ぎ、いよいよ暖かな春を迎えようとしています。新型コロナウイルスの影響により様々な活動が制限されていますが、当施設では感染防止対策を取りながら行事を行っております。

そのような中2月2日に節分を行い、鬼に扮した職員が各階をまわりました。鬼には紙風船がついており、豆やお手玉を投げ、紙風船を割って鬼を追い払いました。

利用者の皆様は「鬼は外、福は内」と大きな声をあげながら豆やお手玉を投げ、一生懸命に鬼を追い払っていました。

豆まき後は皆で豆を食べ厄払いをし、今年一年の無病息災と新型コロナウイルスの終息を祈りました。

まだまだ新型コロナウイルスの動向は不透明な状況ですが、今年も利用者の皆様が喜んでいただけるよう、工夫しながら行事を行っていききたいと思います。



2階 看護 古山 由歌子

全世界で新型コロナウイルスが猛威を振るう中、日本も例外なく感染が拡大しています。私たちが暮らす由利本荘管内も、連日報道で感染者数が発表されており、誰もが感染してしまう可能性があるという状況下です。3回目のワクチン接種は少しずつ進んでいます。楽観視できない状況は続いています。

そのような中、当施設では2月末に利用者皆様の3回目となるワクチン接種を行いました。幸い当施設で感染者は発生しておりませんが、毎日の手洗いやうがいなど基本となる感染対策を確実にしながら、職員一同、利用者皆様が安心して療養生活を送ることが出来るよう援助していききたいと思います。



相談室 佐々木 祥子

当施設では、年度初めに家族構成・緊急時の連絡先を確認させていただいております。同封の用紙に家族構成・緊急時の連絡先をご記入の上、3月31日(木)まで、窓口にご提出下さい。

また、ご家族の状況に変化がございましたら、その都度ご連絡下さい。ご協力よろしくお願い致します。



【面会中止のお知らせ】

全国的な新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、令和4年1月8日より当面の間、全ての面会を中止させていただきます。面会制限解除の際は随時ホームページ等でお知らせ致します。

また10日以内に県外への往来があった方や10日以内に県外往来者と接触があった方の入館をご遠慮いただいております。

上記の方は、備付けのインターホンをご使用いただくか、☎0184-23-7100 までご連絡をお願い致します。

ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

なおご不明な点がございましたら職員にお尋ね下さい。

○お問い合わせ先
介護老人保健施設「しょうわ」
0184-23-7100 (代)